

## 第56回 車座集会（麻生区）

# 新百合ヶ丘駅周辺の公園等を 有効活用した協働のまちづくり

日時：令和5年3月5日（日）10:00～12:00

会場：麻生区役所 2階 ロビー



1

## 第56回 車座集会（麻生区）

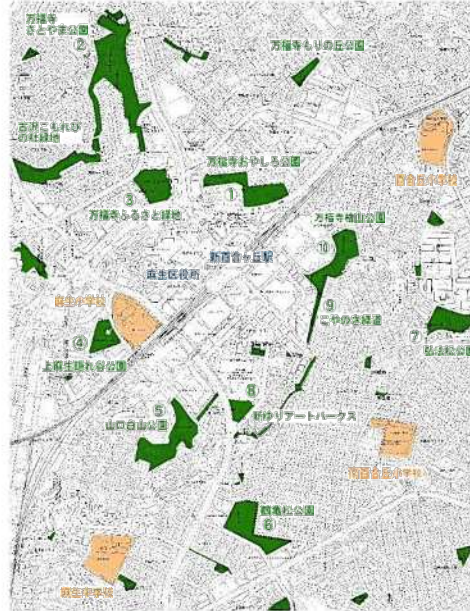
### 【これまでの経緯】

地域デザイン会議での  
意見や課題等



2

## 新百合ヶ丘駅周辺の公園・緑地



### ① 万福寺おやしろ公園



## ①万福寺おやしる公園



## ②万福寺さとやま公園



## ②万福寺さとやま公園



## ③万福寺ふるさと緑地



#### ④ 上麻生隠れ谷公園



#### ⑤ 山口白山公園



## ⑤ 山口白山公園



## ⑥ 鶴亀松公園



## ⑦弘法松公園



## ⑧新ゆりアートパークス



## ⑧新ゆりアートパークス



## ⑨こやのさ緑道





## ⑩万福寺檜山公園



## 地域デザイン会議



『 新百合ヶ丘駅周辺の  
公園等を有効活用した  
協働のまちづくり 』

## 第1回 地域デザイン会議

日 時：令和4年3月27日（日） 参加者：約50名

- 公共空間等の有効活用による新たな参加を生み出すまちづくり  
〔早稲田大学 創造理工学部 建築学科 矢口教授〕

### 参加を促す「公共空間」づくりのルール

- 1 主役はひと・住民です
- 2 まちの「大切な場所」を理解しよう
- 3 必要なプログラムは画一的ではありません
- 4 ちいさなことからはじめてみよう
- 5 スケールの大きな場所でも、住民の関与が大切です
- 6 様々な人々にデザインをしてもらおう
- 7 奉仕し、奉仕される関係が必要



19

## 第2回 地域デザイン会議

日 時：令和4年11月3日（木・祝） 参加者：約25名

- 現状と課題
- 新百合ヶ丘駅周辺の3つの公園を現地調査、ワークショップ



20

## 第2回 地域デザイン会議

日 時：令和4年11月3日（木・祝） 参加者：約25名

### ●現状と課題

### ●新百合ヶ丘駅周辺の3つの公園を現地調査、ワークショップ



現地調査の様子



ワークショップの様子

21

## 第2回 地域デザイン会議

### ●ワークショップ

- ・アート作品展示
- ・「竹ぼうき作り」→「掃除」→「焼き芋、大鍋調理」といった一連のイベント
- ・「火を使うイベント」と「清掃活動/防災」とを組み合わせたイベント
- ・生息している樹木の名札付け



22

## 第3回 地域デザイン会議

日 時：令和5年2月23日（木・祝） 参加者：約200名

### ●実現に向けた試行的な取組



樹木ネームプレート作り



竹ぼうき作り

23

## 第3回 地域デザイン会議

### ●実現に向けた試行的な取組



落書き板、アート展示



飲食スペース

24

## 第3回 地域デザイン会議

### ● 実現に向けた試行的な取組



意見交換会



公園清掃

## 第3回 地域デザイン会議

### ● 実現に向けた試行的な取組



意見交換会

- 子供たちが清掃活動に加わることができる仕組みづくり
- これまで以上に、官民連携していくことが重要
- SNSやスタンプラリーで各公園を連携

## 麻生中学校の取組

- 麻生中学校で公民の地方自治の授業で麻生区の地域課題解決をテーマに授業実施

令和4年10月 授業でまとめたものを区役所受領

令和5年 1月 区長参加で麻生中学校発表会開催

令和5年 2月 学校近隣の3つの公園を現地調査し、提案をとりまとめ

27

## 麻生中学校の取組

- 麻生中学校で公民の地方自治の授業で麻生区の地域課題解決をテーマに授業実施



発表会の様子



教室での取りまとめの様子

28

## 本日の進め方

麻生中学校からの  
公園の利活用の提案

意見  
交換

- ・ 中学校からの提案をどうすれば  
実現できるか
- ・ より多くの人を巻き込むためには  
どうすればよいか

本日のまとめ

# ASDGs ～麻生中 地域デザイン会議～

ASDGs(Asao Sustainable Development Goals)の略。

未来の創り手である麻生中の生徒一人一人が、持続可能な社会に向けて何ができるのかを考え、探究する学習





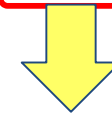
# 衆議院議員選挙における年代別投票率を見てみると



若者の投票率が低い 20代は33%

年齢が上がると投票率は高くなる？

50代は63%、60代は72%



20代だった40年前

S55の20代は63%

つまり、今の若者が60代になっても、投票率は40%程度。有権者の半分以上が投票に行かない中、政治が行われる可能性も...

自分たちにできることは？



# 私たちの住む麻生区とはどのような地域なのだろうか

一人あたりのゴミの量が川崎市2番めに少ない

災害や火災、犯罪に対して安心できる

保育園の待機児童数が最も少ない

電車や車の交通機関が整備されている

図書館の蔵書数が少ない

4割の土地が住宅地

市長、衆院議員選挙の投票率が高い

自然が豊かで農産物が豊富

8割以上の人々が生活環境に対して満足

太陽光発電の設置率が市で一番多い

医療施設数が川崎市内で2位

夜間病院が少ない

児童虐待数の増加

自然動態が減少→出生率が下がり死亡者数が増加

医療機関が多い→高齢者のいる家族移住

一人あたりの公園面積が川崎市No.1

音楽大学や映画大学等芸術にふれる機会

子供文化センターが多い

セレスモスによって地産地消の取り組み

人口が増えて高齢者の割合も増加

一人暮らしをしている高齢者が増加

出生率が減少傾向にある

全産業の従業員数は女性の方が多い

農地・産地の割合が多く、自然豊か

市長選挙の投票率が一番高い

民生委員、自治会加入率が市で一番少ない

土砂災害警戒区域に指定地域が多い

	人口(人)	15歳未満	15~64	65歳以上	75以上	平均年齢
日本	125,220,000	11.9	59.5	28.6	14.7	48.4
川崎市	1,540,340	12.1	67.5	20.4	10.8	44.0
川崎区	231,344	10.4	67.1	22.5	11.2	45.4
幸区	170,804	13.3	64.8	21.9	11.4	44.4
中原区	264,693	12.8	71.8	15.4	7.7	41.4
高津区	234,692	12.3	68.6	19.2	9.8	43.4
宮前区	234,460	13.5	65.0	21.5	11.2	44.6
多摩区	223,337	10.4	69.7	19.9	10.4	43.7
麻生区	181,010	12.5	63.1	24.4	13.2	46.1



# 社会科 公民的分野 地方自治パフォーマンス課題について

社会科の授業で「憲法によって私たちの人権は本当の意味で守られているのだろうか」についてパフォーマンスしてきた31期生。

そんな31期生は社会科の授業で川崎市・麻生区という地域の現状について学習し、調査活動を行ってきました。そこで、『2040年、麻生区が活気ある住みやすい地域』になることを目指して、麻生区企画課の事業「まちを住みよくするアイデアを ～提案型事業の募集～」に企画を提案することになりました。これまで学習してきた麻生区地域の課題も踏まえ、実現可能性があり、持続可能な企画を提案しなさい。

この提案をすることで、麻生中と麻生区という地域の関わりが増え、麻生中生が麻生区という地域に貢献できていると感じられる取組を実現させましょう。



麻生区市民提案型協働事業  
令和3年度募集案内


まちを住みよくするアイデアを  
～提案事業の募集～

**募集期間** 令和3年 1月20日(水)～2月19日(金)

**上限額** 1事業あたり 50万円以内  
(初年度のみ70万円以内)

**事業数** 3～5事業程度

相談は随時受付中  
制度の内容をよく知っていただくために、  
目的と応募する事業の仕方、必ず一度ご相談ください。  
下記、問合せ先までご連絡をお待ちしています。



**1 事業の目的と概要**

麻生区では、地域課題の発見と解決を図り、より住みよいまちづくりを推進することを目的に、地域の団体と協働して提案型事業に取り組む「麻生区市民提案型協働事業」を実施します。  
この事業は、地域の団体から提案事業を募集し、審査委員会での選考を経たうえで、選定された事業について川崎市（麻生区役所）と選定した団体が協定を結び、種別した団体と協働して実施するものです。

※団体の自主活動に資金を提供する補助事業・助成事業とは異なります。  
なお、「かわさき市民活動センター」では、「かわさき市民公益活動助成金」を募集しています。  
また、「麻生市民交流館やすゆり」(https://yasuyuri.ne.jp/)でも「新たな地域コミュニティづくりにつながる事業」に対し助成を行います。(2月から募集開始)

**2 募集する事業**

地域社会の抱えるさまざまな課題や、日頃の活動などで感じている地域課題の解決につながる提案事業（例：地域の防災力の向上、地域の子育て支援、地域における高齢者の健康づくりなど）を募集します。  
ただし、次のいずれかに該当する事業は対象になりません。

- (1) 麻生区役所が業務を所管していないもの
- (2) 国、地方公共団体及び外部団体等から当該事業の委託又は補助助成を受けている、若しくは受ける見込みのあるもの
- (3) 営利目的又は特定の個人や団体のみが利益を受けるもの
- (4) 政治活動又は宗教活動を目的としたもの
- (5) 事業実施を伴わない調査・研究のみなもの
- (6) 追加集約の経費や設備を要するもの
- (7) 麻生区の区域内で既に事業実施されているもの
- (8) 公序良俗に反するもの





# 事業名: ASAO GENERATION ～時代の壁を超えて～

## 調査活動から捉えた私たちの住む「麻生区」

- ・地域と学生同士の繋がり、また、学生同士の交流の機会がコロナ禍という理由だけでなくもともと少ないのではないか。
- ・芸術の街と呼ばれているほどなのに、私達の同年代の人々はそのような場所と関わりが少なくあまり実感できていないのではないか
- ・地域の文化とあまり関わったことがない気がする(禅寺丸本舗など)
- ・都市部へのアクセスが良く、公共施設なども充実している。

## 事業を考えた理由(事業目的:解決すべき課題)

・学校ごとの交流を深めよう!  
 地域と学生の繋がりや学生同士の繋がりが少ないと感じたため学校で行われている学習発表会のようなものをホールで多くの学校を集めて行いたい  
 また、地域の人達も参加できるようにすることで、小学校での学習または、現在の学生たちの考えを地域の人々と交流してお互いに考えを深めることができるし、小学生などもただ考えるだけでなく目標を持って的確な作品を作れると思う。新百合ヶ丘駅で土日にかかっている場所で柿生小学校が発表しているところを見て多くの学校でできたらなと思ったので、多くの学校でまとまって意見を交流し合えるような場所がほしいと思った。また、駅の前で行えばおおくの大人の人にも聞きに来てくれたり、参加していない学校の人などもこれ小学生から大人まで自由に交流しあえて、広い視野を養うことができると思う。

## 事業内容(概要・実施計画)※対象(どこで・だれに)

・新百合ヶ丘の駅前で各学校毎にブースを作り学習発表会でやっているようなことを発表する

小学生	中学生	基本的に大人は自由に立ち寄りでもらう
1月 1年生	1～4月のどれか 1年生	意見を交流し合う時間を設ける
2月 2年生	5～8月のどれか 2年生	
3月 3年生	9～12月のどれか 3年生	
4月 4年生		
5月 5年生		
6月 6年生		
7月 1年生		
8月 2年生		
9月 3年生		
10月 4年生		
11月 5年生		
12月 6年生		

1ヶ月間に1学年を終わらせるために、1学年を4つのクラスに分けて、更にそのクラスの中で6つの班を作って発表する仕組みを作る。  
 そして毎週土日に1クラスずつ行い、1ヶ月で1学年全体で交流を行う。  
 発表はできる限り1人5分未満程度で全員の発表が終わったら別の学校と交代したり他の学校の発表を見に行ったりしてプリントなどに気づいたことを記すと良いと思う。また、駅前の中で一番目立つ場所に本部を設営して見に来てくれた大人の人に簡単なアンケートや発表を聞いた感想などを書いてもらいそれぞれの学校で共有すると良いと思う。  
 夏はスポーツドリンク、冬はコーンポタージュなどを参加賞として学生に配ると意欲的に取り組むことができると考えられる。



調査活動から捉えた私たちの住む「麻生区」

- ・他地域と比べてみても区民の政治に対する関心度が高く、選挙の投票率が増加傾向にあり高い数値である。  
→総合的な生活への満足度の数値に繋がっている
- ・また、少子高齢化が進んでいるため、若い世代の投票率はあまり高くないのではと考えることもできる。
- ・麻生区の特徴として芸術や自然が挙げられて、区長を中心にその特色を伸ばせるような取り組みをしているから麻生区の特徴を維持していけると思う。

事業を考えた理由(事業目的:解決すべき課題)

- ・私たちの身の回りにいる学生の多くが区長のことや区が運営していることなどを知らない。将来、区を中心になっていく存在は若い世代であるため、これは麻生区の課題であるといえる。
- ・そこで私が考える事業プランは「区長と若い世代との交流を増やす」
- ～この計画の趣旨～
  - ①若い世代(学生)の政治への関心度の向上
  - ②区を運営する人たちが若い世代の意見を客観的に捉えられる
  - ③区長との信頼関係の構築

事業内容(概要・実施計画)※対象(どこで・だれに)

- ～この計画の趣旨～
  - ①若い世代の政治への関心度の向上
  - ②区を運営する人たちが若い世代の意見を客観的に捉えられる
  - ③区長との信頼関係の構築
- 対象...若い世代(学生) 場所...小・中学校、高校
- ～実施計画～
 

区長が学校に足を運び、体育館を使って区長が若い世代が目にかけるような議題で意見交流をする。(例)区民祭りの企画やスポーツ大会の企画など  
また、その際に区長の仕事内容や区が運営していることなどを教える。
- (詳細)
  - ①区が学校に電話して承諾をもらう。
  - ②学校側は当日までにクラスなどで「区で行ってほしいこと」や「改善してほしいこと」を議題にして話し合う。
  - ③当日、区長が学校で話す(仕事内容など)
  - ④若い世代が目にかけるような議題で意見交流をする。  
(例)区民祭りの企画やスポーツ大会の企画など
  - ⑤それらを集約して今後の活動に活かす。 この事業にお金は発生しない!
- ～課題～
  - ・特に小学生は政治に興味がないから話し合いにならない?  
→そのために興味を湧くような議題にして話し合う(楽しむことを重視)
  - ・区長の負担が多い  
→この企画をする頻度を上手く区長さんに調整してもらわなければならない。



麻生区市民提案型協働事業

## 事業名: ゴミ拾いスタンプラリー

公園巡りでゴミ拾い

### 調査活動から捉えた私たちの住む「麻生区」

良いところは犯罪、事故が少なく安全に暮らせる地域ということだと思ふ。また、芸術、文化の施設が多いため地域全体が関わるイベントや企画が多いというところがいいと思ふ。改善点は昔、麻生区周辺は山だったため、坂道が多く、学生や主婦などが自転車を使いづらい地域ということ。だから放置自転車の数が多いと思ふ。また、外を歩いていてポイ捨てがされているのをよく見る。缶だったり、お菓子のゴミなど道を歩いていて不快な気持ちになる。

### 事業を考えた理由(事業目的: 解決すべき課題)

麻生区の改善点としてポイ捨てが多いという点に着目し、これが解決すべき課題だと思ふ。また、麻生区のいいところである、自然が豊かということを活用してこの事業を考えた。また、世代を超えて交流をすることで地域の関わりも深まり麻生区が活気にあふれると思ふ。対象者の制限をしないことで一人一人が麻生区をきれいにする意識を持つことができると思ふ。

### 事業内容(概要・実施計画)※対象(どこで・だれに)

#### ・事業内容

麻生区の様々な場所でゴミ拾いを行い、スタンプラリーをしながらまわる。もし、知らない場所を見つけられたら新しい麻生区のスポットを見つけるメリットにもなる。  
全箇所ゴミ拾いを行い、スタンプが全部溜まった人は景品として豪華賞品をプレゼントする。

#### ・対象者

制限なし。子供からお年寄りの人まで参加可能。  
そのため、親子でも楽しめる。

#### ・場所

麻生区の公園や学校など

#### ・日程

毎週末  
参加しやすい土日に設定

## 楽しみながら、ごみ捨て

この企画は、名前の通り楽しみながらごみ捨てをして、区の環境問題に貢献できるものです  
クイズをゴミ箱にかいて自分が思う答えの方向のゴミ箱にゴミを入れてもらうようなことです

### イメージ画像



左の画像のように、クイズが書いてあって自分が思う答えに  
ゴミを捨てる簡単なものです

(例)「世界最高のプレイヤーは誰か？」

「ロナウド？メッシ？」

右の画像はタバコだけですが、これをゴミ箱にして色々なゴミ  
を入れられるようにする

ゴミ箱を透明にすることで、ゴミを多く入れるほど自分がクイ  
ズの答えの人に貢献できるような気持ちになれるのでより多  
くのゴミを捨てようとする人が出てくると思う

人間は珍しいものには興味があると考えた  
楽しみながら環境問題やポイ捨てを改善できる



### 調査活動から捉えた私たちの住む「麻生区」

#### 『良いところ』

- ・自然豊か
- ・「やまゆり号」という福祉バス
- ・区長が女性⇒女性も活躍できる街
- ・農家が多い
- ・治安が良い
- ・公園が多い
- ・交通が便利
- ・音大やアートセンターなど芸術の街
- ・施設が多い(子供文化センター等)

#### 『改善点』

- ・坂が多い
- ・道が狭い
- ・川がない
- ・未来に進むに連れて少子高齢化が進む
- ・観光名所が少ない
- ・犯罪、火災の対応が低水準
- ・刑法犯罪が多い

### 事業を考えた理由(事業目的:解決すべき課題)

- ・麻生区には高齢者が多くいるが坂が多いため、高齢者が買い物に出るとはとても大変なことだと思った。今の時代、ネットショッピングも主流となってきているものの、インターネットを使うのが難しい高齢者もいると考えた。高齢者の力になりたいと思ったため。
- ・私のマンションのエントランスでは、週に2回、キッチンカーが来ていて、実際に私の家も夜ご飯を作るのが困難な日にはキッチンカーを利用している。現在、共働きの家庭も増えているため、その人たちの手助けをしたいと思ったため。
- ・麻生区には、子ども文化センターやスポーツセンターがあるから、そういう施設を活用できることはないかと思ったため。
- ・麻生区には農家さんもいることがわかった。その方々の新鮮な野菜をなにかに活かしたいと考えたため。
- ・地域交流を増やしたいと考えたため。

### 事業内容(概要・実施計画)※対象(どこで・だれに)

#### 【活動日・活動場所】

- ・奇数週(第1,3週)水曜日
- ・地域の施設
- ＊子ども文化センター、スポーツセンター等

#### 【活動内容】

- ①地域の中学生・区の役員・有志の方々に担当を決める
- ②施設に材料を運び込む
- ③料理を作る
- ④販売する

#### 【販売方法・値段】

- ・現地(施設)販売
- ＊コロナが収まったら、その場で食べるのもアリ
- ・移動販売
- ・1食300円くらいの低価格で売る

#### 【主体となる人・助っ人】

- ・地域の中学生
- ・区の役員
- ・有志の方々
- ・地域の農家さん(野菜の提供)
- ＊交渉しに行く

#### 【費用】

- ・移動販売のミニバン 20万円
- ・食材等 10万円
- ・道具等 15万円

#### 【ターゲット】

- ・地域の高齢者
- ・共働きで忙しい家庭
- ・現地(施設)でたまたま通った人



- ・利益があるのでお金の循環可能
- ・石焼き芋みたいな感じで中古のトラックで運ぶ





## 事業名：吹奏楽部の演奏会で地域の活性化を目指す

## 吹奏楽部と昭和音大の音楽祭

### 調査活動から捉えた私たちの住む「麻生区」

都市部に近いのに自然や公園が多く、生活環境が十分整っている。東京に1時間程度で行けるから家族でも住みやすい。川崎市内の他の区に比べて治安が良い。

人口や世帯数は増加傾向にあり、高齢者も年少人口も増加している。だから、高齢者にも子どもたちにも嬉しい事業や政策が行われるべきだと思う。

また、川崎市内の他の区に比べて芸術が推進されたまちづくりが行われたり、積極的にスポーツを楽しめる環境が作られたりしている。しかし、「アートを生かしたまちづくりの推進」に関心のある区民が多いのにも関わらず芸術に関するイベントは年に3、4回しか行われていない。

### 事業を考えた理由(事業目的:解決すべき課題)

麻生区がすすめている「アートを生かしたまちづくりの推進」をしていくため。また、幼い子どもや高齢者などのより多くの人に音楽を届けて、音楽を通して地域内の交流を増やしたり、コロナ禍で発表の場が少なくなった吹奏楽部の人たちの発表の機会を増やしたりするため。今はお金を払わないと音楽を実際に聞くことはできなくなっているから、音楽をもっと身近で感じて、楽しんでほしいという思いがあるから。

### 事業内容(概要・実施計画)※対象(どこで・だれに)

【小中学校の吹奏楽部、昭和音楽大学生の演奏会を定期的に開く】

地域の人々の交流を増やすため、芸術のまちであることを生かしたイベントを開催したい

◦場所:市民館、公園、学校の体育館、校庭 など

時期:冬は音程が狂いやすく、夏は暑いから春・秋中心に開催したい

形式:①小中学校の吹奏楽部の場合  
アンサンブルや大編成での演奏、  
体育館とかならマーチングもいいと思う

②昭和音楽大学生の場合  
オーケストラは難しいと思うから、ボランティアでのアンサンブル

③その他  
楽器演奏の体験

対象:地域住民の人たち(子ども、高齢者)に向けて



# 事業名：若者と高齢者が共存していける麻生区へ

## 高齢者と若者の座談会

### 調査活動から捉えた私たちの住む「麻生区」

- ・麻生区は自然に恵まれていて緑が多い場所になっており、文化や芸術を大事にした取り組みやまちづくりがされている。
- ・子供から大人、障害者まで過ごしやすい環境づくりができており火災や事故も少ないので安全な暮らしができる。
- ・年々投票率が上がっており、政治に関わろうとしている人が多い。
- ・イベントが多く、地域交流の場がたくさんある。
- ・麻生区に住んでいる人で過ごしやすいている人がたくさんいる。
- ・地元で作られて新鮮かつ安全な野菜が食べられ生産者にとっても消費者にとっても良い。

### 事業を考えた理由(事業目的:解決すべき課題)

・麻生区は人口は増えているものの高齢化が進んでいます。その影響もあり一世帯あたりの人員が減っています。それは、高齢者が住みやすいまちになっているというメリットの部分もありますが、今後生産人口年数が減ったり、他の世代との関わりがないので更に高齢化していくおそれがあります。そんな問題を解消するために、**様々な世代が集まり麻生区の良いところを話し合える場を設け、その中でポスターなどを制作できたらいい**なと思いました。そうすることで様々な世代との交流や若者に麻生区の良いところを発信していけるなと思いました。

### 事業内容(概要・実施計画)※対象(どこで・だれに)

- ・半年に一度地域の人たちが集まれる場を用意する。  
例)麻生市民間、老人ホームなど

- ①子供も高齢者の関わりがあるように何チームかグループをつくる
- ②それぞれのチームで麻生区の良いところ、改善点をあげる
- ③テーマを決めポスターの下書きを作る
- ④違うチームに見てもらいお互いにアドバイスしあう
- ⑤修正を施し、色をつけて完成させる

小・中学生が校外学習として高齢者と関わるようにすることもできる。  
ポスターを作ることで授業の一環として、麻生区に貢献することができる！

完成したポスターを掲示板に貼ったり、新聞に掲載するなど、見てもらえるようにする。  
→今、生活している人の意見のほうが実際にどのように思っているのかが分かりやすいと思う。見る人は実際にやっていたり住んでいたたりしている人の意見のほうで、客観的に見ることができ自分が住んだ時の様子を思い浮かべやすい。  
いい点だけでなく改善点を載せることで、実際に住んでもらってもその部分が合わずすぐに離れてしまう可能性を防ぎ確実に住んでもらえるように、改善点もあげる。→麻生区に住んでいる人にも伝わり、改善していく取り組みをしていける。また、参加者が増えていくことで、麻生区がもっと住みやすく、若者にも人気が出る区に変わっていく。

これらのことから、この取り組みをすることにより  
**地域活性化、若者増加への貢献**をすることができる。



調査活動から捉えた私たちの住む「麻生区」

麻生区は川崎市内で二番目に農家数が多く区面積の四分の一が農村や山地である、農業産出額35億9000万円である、など農業がとても盛んです。特に禅寺丸柿や黒川のトマトなどは住民にとっては馴染み深いものだと思います。しかし、麻生区は農業だけではなく芸術も盛んです。日本映画大学や昭和音楽大学、川崎市アートセンターなど芸術に関する施設が非常に多くあります。麻生区にお祭りなどの大人数で盛り上がるイベントが多いのも、麻生区が芸術にとっても力を入れているためでしょう。

事業を考えた理由（事業目的：解決すべき課題）

自分もそうだが、とにかく自分たちが住んでいる麻生という街との関わりがなさすぎて、将来地元への愛着がなくなることが嫌だから。実際、日本中探してもこんなに緑が豊かで老若男女元気、都会へも行きやすく、山道坂道で凸凹していて、探検したくてたまらない街は他にはないと思う。だから、もっと麻生という街に愛着を持ってもらいたいから。

事業内容（概要・実施計画）※対象（どこで・だれに）

概要：麻生区には黒川のトマトや禅寺丸柿など様々な美味しい農作物があるため、それを小学生未満の子どもたちに知ってもらうのもふまえて、地域の名産品をバイキング(果物狩り)形式で食べる。また、麻生区は芸術に関する施設が多数あるためそこも利用して、バイキングに参加してくれた人はもちろん無料で昭和音楽大学生のコンサートを見れたり、日本映画大学の映画を鑑賞できたりする(久保建英のドキュメンタリー)。

場所：3ページ参照

対象：全世代

必需品：なし(バイキング時に必要なものはこちらで用意)

責任者：田川雄三(麻生中学校3年社会科教諭)



### 調査活動から捉えた私たちの住む「麻生区」

- ・人口増加率が高く、世帯人数が多い。→家族世帯が多い
- ・若者の関心が高い。(麻生区が好きと答える若者が多い。)
- ・治安が良かったり、自然環境が良かったり、、、
- ・昔の伝説、伝統がある。
- ・芸術振興が盛ん、芸術に対する関心が高い。
- ・高齢者が多い。
- ・児童虐待の件数が多くなっている。
- ・民生議員、自治体への加盟が少ない。→タテのつながりが薄い。
- ・出生率の減少。
- ・単身の高齢者が多い。

### 事業を考えた理由(事業目的:解決すべき課題)

タテの繋がりが薄いから、近辺にいる人がどのような暮らしをしているのかなどが不透明である。今でこそ犯罪件数は少ないが、隣人が何をしているかがわからないのは、いつトラブルがあってもおかしくない。よくあるニュースで、加害者の隣人が「そんなことをする人とは思わなかった」というのは、その人の目が腐っているわけではなく、本当にそう見えなかったというものだと聞いたことがある。地域の人との繋がりを増やし、困ったときに気軽に相談できるようにすればいいと思う。また、高齢者などが多いから、子どもたちとつながることで、様々な世代の話が聞けたり、話せたりして、地域の古今の文化が伝わり、新しいものが生まれていく。

### 事業内容(概要・実施計画)※対象(どこで・だれに)

ざっくりいうと、地域の人、隣人の人などとの交流。様々な世代をごちゃまぜにして、「何人で1グループ」などと分け、グループ同士で問題解決に当たる。

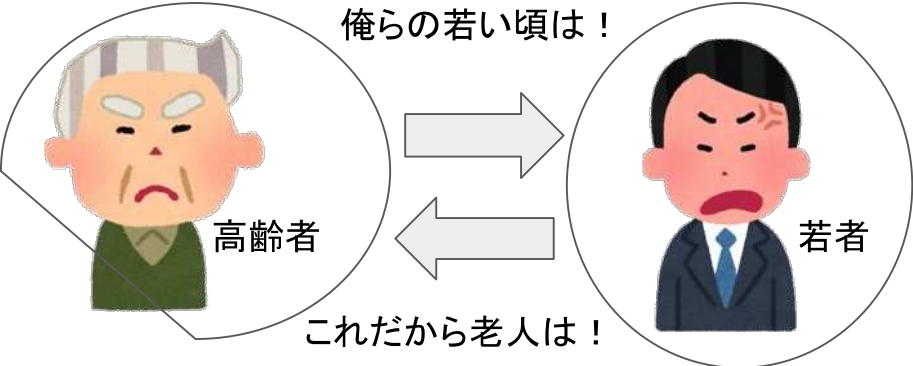
①**気軽に相談、手助け**。例えば、「赤ちゃんがいつも泣き止まない」や、「足腰が悪くて、草むしりができない」「スマホの使い方がわからない」などの悩みや、ヘルプに対し、そのグループの中で、様々なアプローチで手助けを行う。もし、手助けができない、一人の負担が大きい等のトラブルになりそうなときは、他グループや市の職員、ボランティアなどが協力して手助けを行う。手助けをしたときに時間、金銭的損失が発生したときは、予め決められた料金表？(要検討)などに記載された金額をお互い、もしくは事業金から払う。

②1~2ヶ月に一回、麻生区民館の会議室などで、実施。様々な年代の人達を集めて、答えのない一つのクエスチョンに向き合い、話し合いをして、解決する。様々な世代の発想が出ることで、**相互の理解が深まる**(「これだから老人は」や、「私の若い頃はこんな人達は」などの偏見?をへらす。)

⇒**麻生区のタテ×ヨコの繋がりを増やすことで、最近薄い地域住民同士の関係を密にする**。また、悩みなどを気軽に相談できるコミュニティで、麻生区を、「個の集まり」から「群」レベルまで引き上げる。

留意すべき事情:参加しそうな世代は子供と高齢者が多そう。できれば、学生層や、社会人層なども集められるようにしたい。種の多様性。⇒呼ぶためにはどうしたら。。。

**before** 危惧される現状

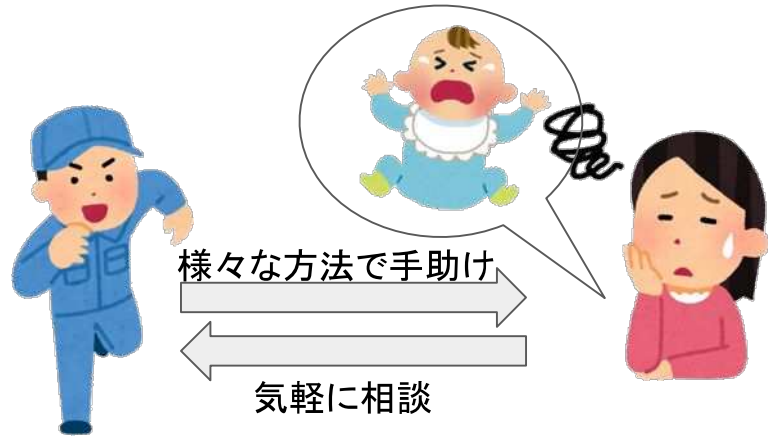
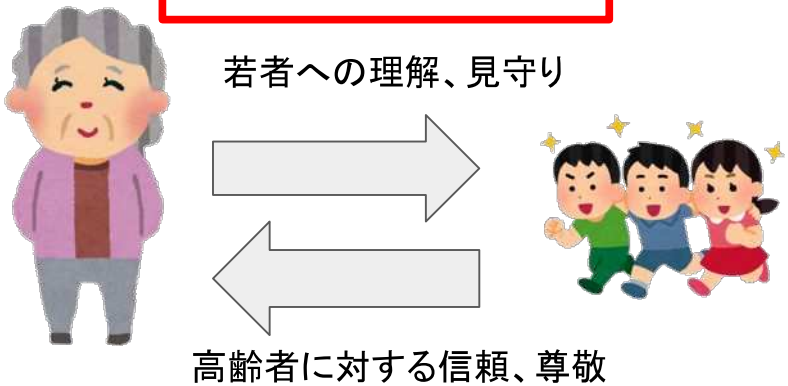


相互理解ができていないからギスギス



**after** タテ×ヨコの繋がりができると、、、

**安心感溢れる社会へ！**





# 事業名：ユリミネーション／かきまる図書館カフェ

地産地消でつながる麻生

## 調査活動から捉えた私たちの住む「麻生区」

- ★人口増加しているが、少子高齢化している。
- ★芸術に親しむ機会や施設が充実している。
- ★図書館を利用している人は少なく、本に親しみがない
- ☆森林が多く、公園が多い      ★待機児童が少ない
- ☆家族が多い
- ・教育熱心が多い
- ☆農家が多い(トマト、大根)      ☆夜が暗い
- ★保育園よりも幼稚園に行く人が多い
- ・リサイクル率が高い      ★転入が転出を上回る
- ☆ヤマユリがさかん
- ・児童虐待増加      ★乗車数増加

## 事業を考えた理由(事業目的:解決すべき課題)

- ・家族が多いので家族一緒にできる取り組みとしての農業体験だから。
- ・やまゆりや柿などの特産品で景観が綺麗な街として魅力を持ってもらうため。
- ・家族が多いということは、裏を返せば20代などの一人暮らしをする年齢の人が少ないとも受け取れる。また、新百合ヶ丘駅は乗車数が多い駅だが、その20代の若い層の女性にオシャレな街だと受け取ってほしくて、都内からわざわざ学校帰りや休日に来てほしいとおもったから。
- ・出生率が低く、子供を育てる街として転入が多いことが示すように、他の地域から、ある程度育った子供が公園の多さや幼稚園の充実(保育園より幼稚園が多いということは共働きが他の地域と比べて、少ないのでは、と思う→母も参加できる取り組みが良い。)

## 事業内容(概要・実施計画)※対象(どこで・だれに)

☆上麻生などではなく、生田などの農業が多く、土地が余っている土地に「やまゆり畑」「やまゆり園」という施設をつくる。冬場にはライトアップし、(ユリミネーションとする)夏には夏野菜で特産品のトマトなどのそれぞれの季節に応じた野菜の畑を作り、自分の手で収穫しサンドイッチなどを作る体験を、親子向けに行う。また、定期的に市場を開き地産地消をする。市場では、麻生図書館と連携して、果物や野菜の棚に、特産品の柿やトマトをはじめ、それぞれの食材を使った麻生図書館所蔵のレシピ本を、地元の小学生や中学生などが連携して描いたPOPを置いたり、野菜や果物を買うに来たお客さんには図書館に呼び込み、レシピ本を読んだ人は農産物をかいたくなるようにする。

★図書館の複合化を、乳児や幼児又は若い人(学生、社会人)向けに行う。現在、麻生図書館は駅の北口にあり隣は区役所で、施設利用者は高齢者が半数以上を占めているイメージがある。

子育て施設と連携して図書館内には幼児・乳児向けに授乳室や多目的室、遊具を少し設置する。

学生向けに2階や石碑の横のベンチにハンモックやチェアをはじめとした読書テラスを設け(複合化施設内であれば、本の持ち出しも借りる手続きなしで可能とする)、開放感がある空間をつくる。また、甘柿の木を目立たせる。

図書館とカフェを複合化して、カフェには日替わりで「柿」フライや「柿」サンド(フルーツサンド)などユニークな柿を使ったメニューを入れる。

また、麻生図書館は7時に閉館してしまうが、学校帰りや仕事帰りにふらっと立ち寄れるように、9時閉館にする。



麻生区市民提案型協働事業

## 事業名:みんなの地域社会

芸術活動でバリアフリー

### 調査活動から捉えた私たちの住む「麻生区」

- ・川崎市全体で見ても自然が多く平地というよりは山のような地形も多いのでそのような山の地形を生かした里山クラブであったりで農業体験やその地域ならではの野菜を作っていることが多い。
- ・また犯罪件数や事故の件数も少なく周りの静けさなども評判となっていたり子供を預けてくれる保育所やこども文化センターなどの教育などにも力を注いでいる。だが核家族世帯が多いため子供のかずは川崎市全体で比べると少ないため待機児童などはあまりない
- ・高齢化率は高いため年少人口が少なく若い世代の負担は少しかかってしまう
- また身体障害者は少ない分交流が大事だが身体障害者は少ないものの介護が必要な人は増えているため福祉の充実が必要

### 事業を考えた理由(事業目的:解決すべき課題)

・麻生区には豊かな自然があることが一番の強みであると思うし自分自身もそういった自然の中で過ごしてきたためそれを活かせるような事業にしようと思った。また麻生区は川崎市全体で見ても他の区と比べて高齢者が麻生区だけ増えており逆に言えば若い人たちも少なくなっているわけでよりこれからは同年代の人だけじゃなく年上の人高齢者の人と関わり合うことも増えると思うから、そのためにも一緒にものづくりをおして協力することが一番仲を深められ、さらには自分たちの勉強にもなったり子供のときにしかできない経験もすることができると思ったのでこの事業を提案しました。

### 事業内容(概要・実施計画)※対象(どこで・だれに)

- ・高齢者、障害者含めて芸術大学と連携しながら大きなモニュメントなどの作品を一緒に作り上げる

場所:映画大学キャンパスまたはその他の大学のキャンパス

対象:全年齢参加可能

目的:高齢者、障害者と一緒に交流できる場を作る

概要:麻生区を代表するモニュメントや大きな絵などシンボルとなるものを協力して高齢者などと一緒に作り上げる(毎年一つ作る)。また大学と連携することで完成度の高い作品を作ることできるしお屋にはグラウンドや大学内である大会やバラスポーツ体験など動けるようなものをする事で更に交流を深める。また保存ができるため歴史にも残りやすく麻生区にイメージも変わる

- ・自然の山などの地形を活かし自然に取れた竹などを生かして流しそうめんをイチから作ったり一緒に食べたりして楽しめる  
⇒高齢者、子供との交流、障害者

場所:自然の多く山となつた公園(火が使えたりする場所)

対象:小中学生、高齢者、身体障害者

目的:自然のなかでのものづくりを通して麻生の自然の魅力を感じるのととも高齢者と協力することで交流を活発にする狙い

概要:自然に生えている竹などを事前に準備しておいてその竹を活用し流しそうめんの道具を作っていく。お屋には流しそうめんなどを作り高齢者などと交流しながら過ごす。



麻生区市民提案型協働事業

## 事業名：南口美化&見せ物大会inしんゆり

演芸大会で美化活動

### 調査活動から捉えた私たちの住む「麻生区」

マルシェやアートセンターなど、大人の住民同士や他業種の関わりが深く、公園やわくわくプラザ、こども文化センターなど子供同士の関わりも強く納涼まつりや定期駄菓子屋、どんと焼きなども行われているけれど、そういった施設以外の、南口の下やすみに隠れているところが汚れつつある。(街の大部分は清潔的)

### 事業を考えた理由(事業目的:解決すべき課題)

バスロータリー付近が少し汚れていて暗い印象があるため、清掃活動が必要だと思ったことと、清掃だけでは一度終えたらそれっきり記憶に残らなかったり楽しめなかったりしてしまうのもっとイメージが良くなることを図るために、見せ物大会を清掃活動の最終日に実施する。  
近くに専門大学や学校、また様々なコミュニティが集う麻生ならではの特徴を活かし、普及する機会としても設ける。

### 事業内容(概要・実施計画)※対象(どこで・だれに)

駅南口とバスロータリーの清掃活動と、お披露目式&見せ物大会

活動内容:

清掃活動...人の少ない早朝もしくは昼に、バスロータリー脇の汚れた部分を高圧洗浄等で清掃

見せ物大会...小中高校大学、部活、また介護施設や商店会などの地域団体、一般の方々から募集を募り、発表したり特技を披露したりする(普及活動、お笑い、楽器演奏また特技、映像発表、ゲーム会、創作物発表 や試食会などなんでも可 清掃活動していない人も参加可能?←議論の余地)

対象:以下のうち一つでも麻生区が当てはまる方とその親族  
住所・学校・勤務先・出身

年齢:無制限

場所:新百合ヶ丘駅南口側の一階バスロータリーと2階のカマキリ像の近辺全体

期間:連続するか休日だけかは置いといて5日間程度(最終日の夕方に催し)  
イルミネーションの点灯式と見せ物大会を兼ねるか長期休暇に行うか

お金の使い道:高圧洗浄機(レンタルor購入)、チラシ作成・配布、舞台の設営等、その他軍手など雑費?





調査活動から捉えた私たちの住む「麻生区」

- ・充実した教育施設と優秀な先生たちが集まっているところが魅力
- ・アートを生かした街作りがされている
- ・他の区に比べて犯罪や火災がすくなくて安全な街
- ・若者のボランティア人数は中原区について多い
- ・昭和音楽大学や日本映画大学など、芸術などに関する大学がある
- ・芸術の街といわれている
- ・14歳以下の子供が少ない

事業を考えた理由(事業目的:解決すべき課題)

- ・若い世代と高齢者の関わりを増やしたい。
- ・新百合ヶ丘駅のバスロータリーあたりや、他にも薄暗いところや少し汚ないところ、活気のないところがあるので、そのような場所を改善していきたい。
- ・犯罪が少ないからこそ、そういった街の活性化に挑戦していくべきだと考えたから。
- ・芸術の街を生かして、学生たちのさらなる活動を増やしたり、家族世帯や子育てを考えている方にアピールをして、子育てを楽しめる環境を作り14歳以下の子どもたちを増やせたらなお良い

事業内容(概要・実施計画)※対象(どこで・だれに)

- ・毎年テーマを決める。  
テーマに沿って住民(特に学生や子供達)に絵を描いてもらったり、写真や動画を撮ってもらう。写真、動画、絵を駅や施設に貼ってもらう。毎年優秀作品をピックアップし、川崎市アートセンターに掲示してもらう、または美術館としてオープンする。アートセンターに展示された作品の作者には、景品をプレゼントする。
  - ・TwitterやInstagramなどのSNSを利用して写真や絵、または展示されている麻生区の町並みなどをたくさん投稿してもらい、全国に麻生区の芸術の街をアピールしていく。  
経費は景品の購入に使用する予定。
  - ・毎年7月にテーマ発表&募集開始
  - ・11月に募集終了、掲示開始
  - ・2月にピックアップ、川崎市アートセンターに美術館として掲示、オープン
  - ・3月に掲示終了、掲示物回収、終了
- <例> テーマ「麻生のぬくもり」  
募集 だれでもOK(麻生区の学校は全体参加も可)  
応募期間8月15日～11月10日  
内容 テーマに沿った動画や写真を撮ったり、絵を描いたりして応募してください！特に良いと選ばれた作品は2月から川崎市アートセンターに展示し、選ばれた作品を応募した方には景品を差し上げます！



## 事業名：麻生のバスをデザインしよう！

### 調査活動から捉えた私たちの住む「麻生区」

転入が多いため他の地域に住んでいた人たちが毎年多く住み始めているが自治会への加入世帯が少なく様々な人と触れ合う地域社会のコミュニティが大きく形成されていない。また、高齢者のための設備がある世帯が多く高齢者が多いため出生率よりも死亡率が多くデータからの予測を見ても2030年まで増加したあとは人口が減少傾向にいくとされている。また、7区の中でも公園の面積が一番大きく自然豊かであり、東京に近く小田急線が通っているため都心にもすぐに出ることができる。また、産業では農業が盛んに行われている。これらのことから自然豊かであったり、都心に近いなどのメリットもあるが、転入が増えていく一方でコミュニティが大きく形成されていないという課題がある。

### 事業を考えた理由(事業目的:解決すべき課題)

- ・地域を活性化させていくためには地域社会の繋がりの活性化が必要不可欠であるが麻生区は自治体への加入世帯が少なく様々な場所から転入してきているためそのような人たちにも麻生区の文化や良さを知ってほしいと思うため。
- ・実際に災害などの際にも地域社会の繋がりが強い地域のほうが生存者が多くなったなどのデータもありこれから麻生区が衰退化していくことを避けるためにも地域社会の繋がりを強めることは大切だと思うため。
- ・繋がりを強めるためには共通の課題を持って一つの目標に向かって努力する機会を持つことが大切だと思う。
- ・麻生区の良さをモチーフとしたものをデザインする。(麻生区の良さについてより多くの人に知ってもらう。

### 事業内容(概要・実施計画)※対象(どこで・だれに)

#### 概要・実施計画

- ・麻生区の文化をより多くの人に知ってもらうためにバスをデザインして麻生区中を走らせる。
- ・いくつかの世帯で集ってもらい話し合って麻生区の地域文化をモチーフとしたデザインを考えてもらう。その中で良いと思われるデザインを採用し実際にそれをデザインしたバスを走らせる。・・・いくつかの世帯で相談することで新しいコミュニティが生まれ地域社会の繋がりがより強固になる。
- ・それを見ることで他のところから転入してきた人たちが麻生区の文化について手軽に知れるようになる。・・・麻生区についてより知って好きになってもらい地域社会への参加を促す。
- ・優秀と選ばれた人には麻生区の食材(柿やトマトなど)を副賞として贈り参加したいという意欲をもたせたり今まで知らなかった麻生の美味しい農産物について知ってもらう。

#### 対象

- ・デザインをするために麻生の文化について調べるため若者などがより麻生区の文化について知る機会となる。デザインを考えるならば老若男女問わず行えるので子供からお年寄りまで様々な人が参加することができる。
- ・若い人たちも積極的に参加できるようにインターネット上での参加もできるようにする。
- ・市バスなどに協力してもらいそのバスを使わせてもらうなどして麻生区の中をより広い範囲内で走れるようにする。
- ・毎年1回デザインを更新していき飽きさせない。



## 山口白山公園は自然豊かで想像力が育つ公園です。

### この公園の特徴(周辺も含めて、この公園の良さ)

自然が  
たくさん

自然を生か  
した遊具が  
ある

防災倉  
庫があ  
った

遊具が  
豊富

見通し  
がよい

人通りが多く奥  
にはいらなけれ  
ば不審者に遭遇  
しづらい

自転車のレ  
ンタルがで  
きる場所が  
ある

自然に  
触れや  
すい

自然が  
多い

広い広場に小さ  
い子が転びやす  
いものがなかつ  
た

日差し  
がよく  
入る



### この公園の課題(周辺も含めて、この公園の課題)

死角になる  
場所が多い

街灯が  
少ない

危険な場所  
に立ち入り  
やすい

定期的な自然の  
整備、(例えば開  
伐)をしたほうが  
良い

ゴミが  
落ちて  
いた

自然の道が  
分かりづら  
い

男女トイレ  
が分かれっ  
ていなかった

遊具の錆が  
目立ってい  
て老朽化が  
怖い

階段が急、  
踏み場が一  
部欠損して  
いた

枯れ葉がたく  
さんあり(階段  
や急な坂道)滑り  
やすい

遊具が  
少ない

防犯監視カ  
メラがなく  
危ない

### 公園の利用方法(この公園で企画したいこと、遊び方など)

- ・ワークショップを開く(自然に優しい)
- ・森を利用して鬼ごっこ
- ・運動会(様々な世代が楽しめるもの)
- ・小中学生参加でゴミ拾い(日にち別で) ⇨ 地域交流の場に
- ・イベント開催 ⇨ イースターやまつり
- ・昔のものを自分で作って遊ぶ(高齢者に教えてもらう)

[理由] 環境整備をし、様々な世代の人にとって、利用しやすいようにするため



## 山口白山公園は広くて自然豊かな公園です。

### この公園の特徴(周辺も含めて、この公園の良さ)

自然  
豊か

自転車  
が借り  
られる

広いため多い人  
数でも遊べる場  
所が確保できる

丸いの  
で死角  
がない

ボール遊び  
ができる広  
さ

日に当  
たる

探索で  
きる

ベンチもいくつ  
か設置されてい  
たため老人にも  
優しい



### この公園の課題(周辺も含めて、この公園の課題)

階段を下ると  
ころがあるので  
ボール遊びをす  
るときは注意が  
必要

ボールと人  
が落ちない  
ための柵を  
作る

電灯はあるけど  
一箇所にしか設  
置されていない  
ので夜になつた  
ら危ない可能性  
がある

落書き  
がある

山奥なので  
人目が少な  
い

遊具が  
少ない

暗い

枝が  
多い

休憩場の環  
境が良くな  
い

### 公園の利用方法(この公園で企画したいこと、遊び方など)

## 虫取り大会

虫取り大会

- ・制限時間以内に虫を多く取る
- ・網、カゴ持参
- ・レア度を決めてそれに応じてポイントを与える  
(例)カブトムシ三点、アリー一点



## 鶴亀松公園は幅広い年代が楽しめる公園です。

### この公園の特徴(周辺も含めて、この公園の良さ)

広い

遊具の種類が豊富

青葉幼稚園から近い

人が多い

休憩しに来ている人がいた

小さい子が安心して遊べる

ボール遊びもできる

ベンチがある

運動神経が良くなりそう

広場がある

丁度いい木の椅子がある

自転車置き場がある



### この公園の課題(周辺も含めて、この公園の課題)

地面が整備されていない

お菓子のゴミやライターの周りの紙のゴミが落ちていた

木が危ない

崖のところに木の枝がたくさん落ちてている

ボールが道路に飛んで行きそう

転んだら痛い

死角がたくさんある

松がある理由がわからない

土の所が多いので雨が降ったあとは危ない

トイレが汚い

### 公園の利用方法(この公園で企画したいこと、遊び方など)

▼投票ゴミ箱、自販機の設置

▼バスケット、サッカーゴール、砂場の設置

麻生区がこれからもきれいな街であり続けるために、自販機とセットでゴミ箱を設置する。自販機があると、灯りにもなり、暗い公園ではなくなる。また、麻生区内にバスケットボールゴールがある公園がないため、スポーツができる公園もほしいため



## 上麻生隠れ谷公園は世代を問わず楽しめる公園です。

### この公園の特徴(周辺も含めて、この公園の良さ)

遊具が  
充実し  
てる

全体的  
に清潔  
感◎

花や木が多い、  
花に水をやれる  
じょうろがある

十分に走れ  
る広さと球  
技のできる  
空間がある

ベンチ  
が多い

昼間は陽が  
さして明る  
い



### この公園の課題(周辺も含めて、この公園の課題)

真ん中の広  
場は、小さ  
い子供がい  
ると危ない

電球が少な  
いので夜が  
危ない

ゴミが  
落ちて  
いる

自転車やバイクなどの  
乗り物が多くあり通行  
人にあたったら危ない。  
また、ボールを使  
う場所が中の広場で  
ボールが外に出てもい  
きなりボールが出てき  
て危ない

木の高さが1つ  
1つ高いので木  
登りしたときに  
落ちたら危ない

砂場におも  
ちゃが散  
らかって  
いた

### 公園の利用方法(この公園で企画したいこと、遊び方など)

## 移動販売の車を一週間に一回ほど呼ぶ

理由

かつて、近所の公園に毎週移動販売のパン屋が来ていて、人がたくさん集まっていた

## 公園ライブ 月1回

理由

ライブは様々なジャンルがあつたり無料で間近で見られることに対して老人から子供まで迫力ある体験を楽しむことができる

ご清聴  
ありがとうございました

